

案件番号

01-B05

自動車運転シミュレータを、リハビリ・高齢者の認知機能向上訓練に改良するための提言を求める

その他

交通安全危険予測シミュレータ（自動車編）

機器事業者・団体

株式会社ラッキーソフト

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町11-1
平塚フジビル

Tel: (0463) 23-7830

HP: <http://www.luckysoft.jp/>

アドバイス支援実施施設

■社会福祉法人

名古屋市総合リハビリテーション事業団

アドバイス支援のねらい

交通安全教育での活用から、 リハビリに特化したソフト改良に取り組む

危険感受性の向上や日常の悪い癖・習慣の見直しを教育・指導するVR自動車運転シミュレータ。短いコースや複数のコースを組み合わせ、運転時の注意すべき危険なシーンを走行。交通安全教育普及推進の場で広く活用されているが、作業療法士から運転復帰訓練に使用したいとの要望があり、本シミュレータを基盤に既に開発を進めていた運転復帰訓練機器「運転基礎能力トレーニング」システムを新たに提案し改良の助言を求めた。

本システムは運転動作に対しての訓練効果を上げるため、ハンドルとアクセル・ブレーキペダルを使用。モニタに表示されたさまざまな訓練課題（視覚や聴覚による判断力の訓練注意分配、視空間認知、処理速度）による運転時に必要な基礎能力を複数の

レベルで訓練し、高次脳機能障害の方や、高齢者の実車訓練に向けた運転能力向上を目的としている。

運転適性評価、研究をされている専門家のアドバイスのもと、高次脳機能障害の方などの運転基礎訓練や高齢者の認知機能向上訓練に必要な心身の行動変化と運転を結びつける訓練要素（訓練課題、内容、時間、評価、フィードバック等）や知見について提言をいただき、リハビリに特化したソフトウェアの改良に取り組んだ。



交通安全危険予測シミュレータ（自動車編）

運転基礎能力トレーニングの様子



アドバイス支援の成果

新しい訓練方法となるシステムとして高評価。 訓練項目の目的・対象の明確化が改善点

自動車運転シミュレータに関して、体験方法の説明画面やコースガイド、音声と画像によるナビゲーション等、工夫された演出はユーザビリティが高く、初見でも体験しやすいと高評価を得たが、体験者にフィードバックしやすくするため結果出力を5段階評価に加えて数値化されると良いとの提案を受けた。

「運転基礎能力トレーニング」システムの開発に至った背景に、運転復帰を希望する脳血管疾患、高次脳機能障害の方などにとって、急性期後の運転復帰リハビリや軽度認知障害の運転課題に関する

指針や文献等も少ないのが現状であった。

いただいたアドバイスは、本シミュレータと併用して訓練でき、他の類似商品とは違う新しい訓練方法となるシステムとして高評価を得た。訓練項目に対しての目的・対象をより明確化するなど一部改善点は残ったが、満足できるアドバイスが得られた。

今後さらに製品価値を高めるため、医学的知見および交通心理学等の専門家にアドバイスを求めるとともに、顧客からの要望を含め訓練目的の妥当性等機能面の強化をはかり、一人でも多くの訓練者が日常生活に戻るための社会参加支援ができればと願う。